

鹿児島県立短期大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50

場所:鹿児島県立短期大学

※ 平成27年度 第6回目

平成28年2月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島県立短期大学 男性	① 鹿児島市の観光で特に力をいれているものは何か。	① 今後、人口が減少していく中で、まちの活性化を図るためには、交流人口の増加を目指す必要があり、観光の果たす役割は大きいと思います。 今年7月に、磯地区の「旧集成館」、寺山地区の「寺山炭窯跡」、下田地区の「関吉の疎水溝」の市内の3資産を含む明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に登録されました。 現在多くの方に来ていただいており、にぎわっているところですが、今後も、国内外にその魅力を発信していきたいと考えています。 また、世界に誇る活火山である桜島と錦江湾を含めたジオパークや鹿児島マラソンなどを通し、観光振興を図っていきたいと思っています。	企画財政局 経済局	市長回答のとおり
2	鹿児島県立短期大学 女性	② 国道3号にあった市電がなくなった理由と、今後、国道3号に市電が再び延伸される可能性はあるか。	② 市電は昭和40~50年代は大幅な赤字になり、昭和60年に3号線を走っていた伊敷線と、たてば方面を走っていた上町線を廃線にしました。当時は、市電を全て廃線にする可能性もあったほど、厳しい経営状況で、伊敷線はやむなく廃線となりました。 現在では、バス事業は赤字ですが、市電事業は、黒字になり、環境にやさしく、観光面でも重要な役割を果たしていますが、市電を3号線に再び延伸するためには、自動車交通をどのようにするか等について、課題も多く、難しい面があると思います。	交通局	市長回答のとおり
3	鹿児島県立短期大学 女性	③ 国道3号を走るバスは、市役所行きが多くて、中央駅方面の便数が少ない。理由を教えてください。	③ 市営バスも民間バスも、経営、効率性があり路線を決めているので、乗る人が多ければ、路線を設置できると思います。いただいたご意見については、市営バスの企業管理者やバス協会にもお伝えしたいと思います。	企画財政局 交通局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【交通局】 中央駅への需要も多くなっていますが、加治屋町から市役所前間の利用者の方がさらに多いため、市役所行きの便数が多くなっております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	鹿児島県立短期大学 女性	④ 県短の学生はバスを利用する人が多い。県短前バス停を設置することはできないか。	④ 市営バスも民間バスも、経営戦略があり、バス停の設置等についても経営上の判断があると思います。今回いただいたご意見についても、バス協会等に伝えたいと思います。	企画財政局 交通局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【交通局】 下伊敷バス停と玉江小前バス停間の距離が、極端に短くなり、他のお客様の利便性や、バス停新設に係る運賃表示器やICカード関連機器の更新など費用対効果の面などからも課題が多いものと考えます。また、バス停設置は交通保安上の観点など考慮し道路管理者に占用許可を受け設置していることから、設置可能と思われる場所の具体的な位置をお示しいただくと、バス事業者としても検討しやすくなります。
5	鹿児島県立短期大学 女性	⑤ 県外に鹿児島市をPRするのに適していると思う特産品を教えてください。	⑤ 市の特産品としては、黒の食材である黒牛、黒豚、黒さつま烏、黒糖等のほか、桜島大根やびわ、桜島小みかん、松元のお茶等の食品並びに大島紬や薩摩焼、薩摩切子等の伝統的工芸品が挙げられると思います。こうした特産品については、私自身がトップセールスをしているほか、経済局の職員が県外に出かけて行って物産をPRすることもあります。 国民文化祭では、スタッフ、出演者、観客を含め、約6万人の方々が参加してくれました。そうした際にも、お茶のおもてなしをしたり、特産品の販売コーナーを置いたり、パンフレットを配置したりしました。今後もあらゆる機会を通じて、PRしていきたいと思います。	経済局 市民局	【経済局】 市長回答のとおり
6	鹿児島県立短期大学 女性	⑥ 県外出身者の感想だが、鹿児島市の道路整備は進んでいるが、ゴミの分別マナーが悪いと感じる。どうにかできないかと思う。	⑥ 大変厳しいご指摘をいただきました。頂いたご意見については、環境局に伝えます。 本市では、ゴミを15品目に分別して収集しており、それぞれの地域で曜日によって出す種類も違います。チラシを配ったり、市民のひろばなど様々な方法でPRをしていますが、なかなか徹底されていない、ということだと思います。 最終的には、ゴミを出す人のモラルの問題になると思いますが、本市では、現在、指導員が市内をくまなく巡回し、違法なゴミ出しをしないよう指導している他、町内会でもゴミ分別の説明をする等色々取り組んでいます。 今後、さらに徹底して指導したいと思います。	環境局	【環境局】 市長回答のとおり (補足) ごみの分別間違いや収集日以外のごみ出し等については、「違反シール」を貼付し、ごみステーションに残すことにより注意喚起を行い、適正排出の周知徹底に努めています。また、ごみステーションの巡回パトロールや注意看板の設置を行っています。今後におきましても、適正排出やごみステーション周辺の美化が保持されるよう、引き続き指導に努めていきます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	鹿児島県立短期大学 女性	⑦ 観光面に力を入れ、交流人口を増やすのも大切だが、最終的には、定住人口の増加が大切だと思う。定住人口を増やすための鹿児島市の取組を教えてください。	⑦ まちを活性化させるためには、やはりひとが大切で、多くのひとのアイデアや知恵が地域活性化や地域振興につながります。 そうしたことから、定住人口の確保は必須の条件ですが、国全体で、人口が減るとい推計が出ており、本市でも9万人ほど人口が減るとい試算があります。本市の人口が減少するのは、若い方々が県外に出ていくことや、出生率が低下していることが主な要因と考えられます。 そうした中、鹿児島に残ってもらうを増やすためにも、雇用の確保を企業の方にお願ひしていますし、学生の皆さんが、ふるさとに残りたいと思う意識を持ってもらえるよう、鹿児島島の素晴らしさをお伝えする対策も必要かと思ひます。 また、子育てするなら鹿児島市を掲げており、子育てしやすい環境づくりや、できるだけ家庭に負担がかからない対策を進め、定住人口の確保につなげていきたいと思ひます。	企画財政局 経済局 健康福祉局	【企画財政局・健康福祉局】 市長回答のとおり (参考) 国の推計(社人研)による本市人口 2010年:60.6万人 2040年:52.0万人(△8.6万人) 2060年:41.7万人(△18.9万人) ※鹿児島市まち・ひと・しごと人口ビジョンでは、2060年に51.5万人の維持を目指す。 【経済局】 企業立地の取組では、立地企業に対して鹿児島市民の優先的な雇用に努めることを依頼し、企業立地促進補助金等により新規雇用に対する支援を行っています。 就職希望の高校3年生や入社前の新就職者を対象にしたセミナーの開催や、地元経済団体等への若者の雇用拡大要請訪問の他、ものづくりを支える職人に興味のある若年者への職業体験の場を提供し、ものづくり分野での就職・起業につなげるための施策等を行っています。今後も引き続き、雇用機会の確保につながるよう、各種施策を行っていきます。
8	鹿児島県立短期大学 女性	⑧ 高校を出たら県外に行く人が多く、若年層が少なくなっている。企業の就職窓口が少ないように思うが、市の取組を教えてください。	⑧ 高校卒業後、大学等で県外に出て、帰ってくる人も来ない人もいますが、帰ってくるを増やす対策も大切だと思ひます。そのためにも、若い方々の雇用機会の拡大が重要なポイントだと思ひます。 本市でも、企業誘致に取り組み、就業機会の拡大に取り組んでいる他、地元の企業にも若い方々を地元で雇用してもらえるよう協力をお願いするなど、雇用機会の確保にも取り組んでいます。 また、若者の定着を図るためにも、大学との連携を強化し、ふるさと教育の推進を図ってまいります。	企画財政局 経済局 健康福祉局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【経済局】 企業立地の取組では、立地企業に対して鹿児島市民の優先的な雇用に努めることを依頼し、企業立地促進補助金等により新規雇用に対する支援を行っています。 また、就職希望の高校3年生や入社前の新就職者を対象にしたセミナーの開催や、地元経済団体等への若者の雇用拡大要請訪問の他、ものづくりを支える職人に興味のある若年者への職業体験の場を提供し、ものづくり分野での就職・起業につなげるための施策等を行っています。今後も引き続き、雇用機会の確保につながるよう、各種施策を行っていきます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	鹿児島県立短期大学 女性	⑨ 6次産業化が地域活性化のカギになると習ったが、鹿児島市の予算を見ると、1次産業に比べ予算が少ない、5分の1ぐらいに思えるが、その理由を教えてください。	⑨ 6次産業化は、県にとっても、市にとっても今後の産業振興の大きな手立てになるものと考えており、今後予算は増えていくものと思いますが、現在、6次産業に関する予算は、過渡期にあると思います。 まずは、1次産業をしっかり育て、定着させ加工・流通に結び付けていくことが重要です。軌道に乗ってきたら、予算も増えていくものと考えています。	経済局	市長の回答のとおり (補足) 今後とも物産展などでの販売促進活動や新商品開発に係る経費の助成などを行い、地域の特性を生かした更なる加工商品開発を促進します。
10	鹿児島県立短期大学 女性	⑩ 学生との対談で得たヒントはどのようなものがあつたか。	⑩ これまで、若い方々ともふれあいトークで対談してきましたが、印象に残っているのは、若い世代と住んでいる地域の方々との接点がなかなか見いだせない、コミュニケーションをとりづらいということ聞き、これは課題だと感じました。 この課題をどのように解決するか、若い人達が地域に溶け込み、ボランティア活動や行事に参加するなど、まちづくりに参加するための対策を取らなくてはいけないと思ったのはこのふれあいトークの中で得られたものだと思います。 また、鹿児島国際大学と東京大学の学生が連携して、鹿児島市のまちづくりの提言をいただいたこともあります。横浜市立大学の学生からも、県外からみた鹿児島市の課題等の提言をしていただいたこともあります。そういうことも、学生との対談で得られた良かったことだと思います。	市民局 企画財政局	市長回答のとおり
11	鹿児島県立短期大学 女性	⑪ 外国人観光客、特に中国人観光客が増えているようだが、日本語が話せない人が多い。市の外国人観光客向けの取組を教えてください。	⑪ 現在、多くの外国人観光客が鹿児島島に来ており、26年度は前年度の2倍ほどに増えました。国際交流が増えると、もっと増えることも予想されますが、外国人観光客への対応は課題になっていると思います。 現在、公共施設や市営バス等での案内表示やアナウンスを英語、中国語、韓国語、日本語の4か国語で使用しているシステムをつくっていますので、民間の施設でも、そうした取組を進めてほしいとお願いもしています。また、wi-fiスポットの設置について様々な場所で利用できるように、民間施設でも進めてほしいと思います。とにかく、外国の方が鹿児島市に来られて難儀をしないように取組を進めていかなければならない。	経済局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	鹿児島県立短期大学 女性	⑫ 市外出身者だが、天文館が昔に比べると元気がないように感じる。駐車料金が高いなどの課題もあると感じる。天文館地区の活性化策について教えてほしい。	⑫ 現在は、天文館地域だけでなく、鹿児島中央駅や谷山方面の大型ショッピングセンターなどにも買い物に行きやすくなっており、天文館からにぎわいが他の地域に移行しているという現状があると思います。 私が若い頃、天文館は、まちの中心地で繁華街、都市の雰囲気を感じられる場所だったと思います。今後、そうした賑わいを取り戻せるよう、天文館地域を活性化させることは重要な課題だと思います。 ウォーターフロント地区については、県と協議しながら、にぎわいを生み出せるような施設や設備等を要請していきたいと思ひますし、天文館の空き地がいくつかありますので、再開発をどうするのか、ということも課題だと思います。 鹿児島駅周辺は、鹿児島の発祥の地であり、世界文化遺産に登録された礎地区とも近いこと等も踏まえて、活性化に力を入れ、回遊性が生まれるよう対策をしていきたいと思ひます。来年度以降、駐車場もできますので、車で鹿児島駅まで来て、市電、市バスに乗り換えて天文館へ行くというようなパークアンドライドの仕組等も作っていきたく思ひます。 また、市電、バス、フェリー等もありますので、公共交通機関の連携を図り、人が回遊してゆっくり歩ける環境づくりを進めることで、地域の活性化にもつながっていくものだと思います。	企画財政局 経済局 建設局	【企画財政局・経済局】 市長回答のとおり (補足) 本市においては、官民による72事業を掲げた第2期鹿児島市中心市街地活性化基本計画を策定し、まちの活性化に取り組んでおります。 いづろ・天文館地区においては、多くの事業者等が参加し、設立したWe Love天文館協議会をはじめ、創意工夫を凝らした商店街活動の支援や、店舗経営の指導・研修を行うとともに、千日町においては、再開発に向けた関係者の取組を支援しております。 また、おはら祭や春祭などのイベントも官民協力して開催しております。 今後とも、中心市街地の活性化に向けて、官民一体となり、取り組んでまいりたいと考えております。 【建設局】 鹿児島駅周辺については、駅の隣接地にイベント広場や駐車場からなる「上町ふれあい広場」や緑豊かな「上町の杜公園」を整備しており、28年10月にオープンする予定です。 また、普通車駐車場及び大型車駐車場を整備いたしますが、広場や公園の利用者だけでなく、パークアンドライドにも対応できるよう、その運用について検討しています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	鹿児島県立短期大学 女性	⑬ 国道3号では渋滞、事故が多いように感じる。渋滞や交通事故対策について教えてほしい。	⑬ 渋滞対策としては、時間帯によるバス専用レーンの設置や公共交通機関の利用促進を図る対策を取っています。 また、交通事故対策については、ハード・ソフトの両面で対策を進める必要があります。ソフト面では、高齢者が事故にあうことが多いので、交通安全対策を色々な団体を通じて高齢者にお伝えしています。また、ハード面では横断歩道や交通信号、自転車専用道路の整備等も進めています。	企画財政局 市民局 建設局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【市民局】 ソフト面の交通事故対策として、高齢者の交通事故が多発していることから、「お達者クラブ交通安全教室事業」を27年度から新たに実施しています。また、参加、体験型の交通安全教室や各期の交通安全運動、各種キャンペーンを通じて交通ルール・マナーの周知・啓発を図っています。 今後も県警や交通安全協会など、関係機関と連携、協力しながら、各種取組を継続的に実施してまいります。 【建設局】 本市では、25年度に策定した自転車走行ネットワーク整備計画に基づき、自転車走行空間の整備を年次的に進めており、27年度は、みずほ通線など7路線の整備を行っています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
14	鹿児島県立短期大学 女性	⑭ 市電の軌道敷緑化事業は大変すばらしく、全国に誇れるものだと感じている。市長就任後11年間の経験の中で、達成感、やりがいがあった事業と、大変だった、つらかった事業についてそれぞれ教えてほしい。	⑭ これまで11年間、市長を務めていますが、毎期ごとにマニフェストを掲げて取り組んできております。 達成感ということでは、色々ありますが、ご発言いただいた軌道敷緑化については、鹿児島市は戦災で、90%以上が焦土と化した結果、他都市に比べ、緑が少ないと、市長になる前から常々考えていましたことから、事業を進めました。 軌道敷緑化を進めるにあたっては、芝生が枯れて見苦しい状態になるのではないかと、芝生にゴミがたまるのでは等、批判も少なからずありましたが、想いを持って事業を推進しました。 結果的に、市民、観光客から高い評価を頂いていますし、景観や緑化が進んだということのみならず、騒音低減につながる等の副次的な効果もありました。 また、交通局や市立病院を新たにオープンしたことも大きなことだったと思います。 ソフト面では、鹿児島に住んで良かったと思えるような施策、例えば、子育てをするなら鹿児島市を掲げ、各種施策に取り組んだことや、高齢者の生きがい対策なども実現できて良かったと考えています。 一方、辛かったということはありません。その時々、難題や課題というのがありますが、辛いというよりは、市長として、厳しい判断、市政運営をしなければならぬというものがあります。 例えば、災害時には瞬時的に、判断しなければならぬ状況もあります。また、合併するまでは前の市長が市政運営をしていましたが、合併後の市政運営は実質的に私がスタートしたものだと思っています。合併後、それぞれの地域の良いところをどのように伸ばしていくか、住民サービスの低下を招かないようにするとともに、均衡ある発展をどのように進めていくか、という課題もありました。 実際に、市長とふれあいトーク等で合併した地域に行きますと、解決された課題はあるが、もっとして欲しいというものも出てきますので、そういうニーズを踏まえながら、まちづくりを皆さんと一緒に進めていくことで、課題を解決していきたいと思っております。	企画財政局 建設局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【建設局】 軌道敷緑化については、都市景観の向上はもとより、路面温度や騒音の低減、さらには街なかに潤いの空間が創出されるなど、多くの効用をもたらしていることから、今後も引き続き適切な維持管理に努めてまいります。
15	鹿児島県立短期大学 女性	⑮ かごりんはサイクルポートが近くにありすぎる。200円という値段を考えると、交通の便が良いところは公共交通機関の方が安くて、そちらを利用するので、もっと交通の便が悪いところに増やした方が、利用者が増えるのではないかと。	⑮ かごりんのサイクルポートは、21か所ありますが、利用率は全国でも上位にあると聞いています。 現在、運営は民間委託してます。運営の中で、色々な課題が出てきますので、協議していきたいと思っておりますし、今回のご意見についても、協議の中で相手に伝えます。 なお、ステーションを増やすということは、経費もかかってきますので、運営企業の経営戦略や利益性を勘案して対応していくことが大切ですが、やはり、市としては多くの市民の方に利用していただき、利便性を高めることが一番ですので、そういった観点で話し合いを進めていきたいと思っております。	環境局	人がストレスを感じずに歩ける距離は250~300mと言われており、コミュニティサイクルのサイクルポートはこの範囲に配置することが理想とされております。サイクルポートの数を増やし、事業エリアを広げるほど利用者は増加すると思われそうですが、費用対効果を考えますと、一定のエリアに限定せざるを得ない状況です。 今後も、管理運営事業者との協議を密にする中で、利用状況や利用者の方々のご意見等を勘案しつつ、サイクルポートの拡充も含め、さらに利便性・回遊性の向上を図っていきたくと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
16	鹿児島県立短期大学 女性	⑩ どんなに住みやすくても、交通事故が多いまちはよいまちとは言えないと思う。電光掲示板で運転手に安全運転を呼び掛けるなどの対策があると思うが、市民に対して行っている交通安全対策を教えてください。	⑩ 交通事故については、行政だけでなく、民間にも協力をもっ取り組んでいます。なかなか減らないというのが現状です。 現在、本市ではWHOが推奨するセーフコミュニティの認証取得に向け、7つの分野で取組を進めており、その中でも、交通安全の分野があります。 現在、吉野地域で交通安全の取組を進めているので、それを他の地域に広めていくことで、事故の減少につながるものと考えています。 免許更新での講習を徹底してほしいというもありますし、警察、公安委員会の方々と連携して取組んでいかなければならないと思います。 特に高齢者の事故が多いという現状もありますので、運転手だけでなく、歩行者の安全確認も重要だと思います。 とにかく、あらゆる手立てを使って、交通事故の減少には取組んでいかなければならないと思います。	市民局	本市では、各期の交通安全運動期間に合わせた街頭キャンペーンや市民のひろば、HP等による交通安全の周知広報、交通安全教室の実施など、交通安全意識の啓発高揚を図っております。また、児童通学保護員による児童の保護誘導や、交通危険箇所改善等の要望に対する関係機関との連絡調整等、交通安全の確保に努めているところです。そのほか、高齢者の交通事故が多発していることから、「お達者クラブ交通安全教室事業」を27年度から新たに実施しております。今後においても、県警や交通安全協会など、関係機関と連携、協力しながら、各種取組を継続的に実施してまいります。 また、現在、吉野小校区をモデル地区として取組んでいるセーフコミュニティの交通安全分野における取組について、順次全市に展開してまいりたいと考えています。
17	鹿児島県立短期大学 女性	⑪ 県外向けのアピールは大切だが、市内に住んでいる人達が鹿児島市を好きになることも大切。市民向けのアピールを教えてください。	⑪ 観光ポスターは2年に1回作って、市内、県外にも掲示してもらっています。今年作成したプロモーションビデオでは、宮脇咲良さんにもご出演いただき、世界文化遺産や天文館ミリオナーショの紹介をしています。 他にも、トップセールスや新聞報道等を通じて、県外に向けたPRというものもしていますが、やはり、ふるさと鹿児島市の素晴らしさを市民の皆さんが知っていただき、また身をもって体感し、市民一人ひとりが広報マンとして、多くの方々にお伝えいただきたいと思っています。 いただきましたご意見のとおり、市民が鹿児島市を好きになることはとても大切なことですので、市民の皆さんにも鹿児島市の素晴らしさ、特性を知っていただく取組を進めていかなければならないと思います。	経済局	市長回答のとおり (補足) 市民の気運の醸成に向けた取組として、明治維新150年PRラッピングバス・電車の運行や、市内の団体が観光資源等に関する研修会を実施する際に講師を派遣する「もっと知ろうよ観光鹿児島講師派遣事業」等を行っています。
18	鹿児島県立短期大学 女性	⑫ 大型のショッピングセンターができ、買い物はしやすいところが多いが、鹿児島市には遊ぶ施設がない。昔、ジャングルパーク等があったが、今後遊園地等をつくる予定はないか。	⑫ 鹿児島市内には、アミューズメント施設として、遊園地が併設されている平川動物公園のほか、かごしま水族館、かごしま健康の森公園、鹿児島ふれあいスポーツランド、七ツ島サンライフプールなどがあります。 また、かごしまメルヘン館や鹿児島市立科学館、ふるさと考古歴史館など、遊びながら学べる施設もあります。 市では、新たにアミューズメント施設をつくる予定はありませんが、これらの施設を利用して楽しんでいただきたいと思います。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
19	鹿児島県立短期大学 女性	⑱ 坂が多く、高齢者多い団地で、バスがあまり通っていないところが多い。高齢者は交通手段に限られてくるので、交通手段を充実させてほしい。	⑱ 鹿児島市内のほとんどの住宅地は伊敷団地や桜ヶ丘など、丘陵地域にあり、それらの団地には、市営バスや民営バスが運行していますが、利用状況等に応じてバスの便数には差があります。 また、公共交通不便地等については、あいばすも運行していますが、やはり利用者が増えなければ、採算性等の面から、交通手段を充実させることは難しいと思いますので、皆さんも、ぜひ公共交通機関を積極的に利用していただくよう、お願いいたします。	企画財政局	市長回答のとおり
20	鹿児島県立短期大学 女性	⑳ 鹿児島市は、以前、安全で住みやすい印象があったが、桜島の警戒レベルが引き上げられたり、大きな地震があるなど、最近はそうではなくなっている。安全対策などについて教えてほしい。	⑳ ご意見にありましたように、本市では、本年8月に桜島の噴火警戒レベルが4へ引き上げられたほか、11月には震度4の地震が発生しました。また、全国的にも集中豪雨や火山災害など自然災害が増加傾向にあることから、より一層、防災対策に万全の備えと対応を講じていく必要があると考えています。 防災対策の実施にあたっては、災害の発生を完全に防ぐことは不可能なため、人命の安全確保を最重要視し、また経済的被害が少なくなるよう、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方をもとに、情報伝達手段としての防災無線の整備や、大規模災害に備えた避難所への物資の備蓄など、様々な対策を組み合わせて災害に備えています。 また防災対策は、市民のみなさまの、自らの身の安全は自ら守る「自助」と、地域の安全は地域住民が互いに助け合って確保する「共助」、そして公的機関の「公助」の3つが不可欠です。 自助・共助については、自宅周辺の危険箇所や避難所の確認、防災情報の収集方法、食料品の備蓄など、家庭での備えについて広く呼びかけるほか、地域の自主防災組織での訓練活動へ助成を行うなど、市民のみなさまへの防災意識の啓発を図っています。	市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
21	鹿児島県立短期大学 女性	⑳ 市立四年制大学をつくって男性の人口流出を抑えることができれば経済もよくなるのではないかな？	⑳ 鹿児島市内には、国立、県立、私立の大学及び短大がすでに設置されているとともに、児童生徒数の減少も見込まれていることから、市立の4年制大学の設置につきましては、現在のところ考えていないところです。 若者の流出抑制については、現在、策定を進めている地方創生の「総合戦略」でも重要課題であると考えており、その基本目標に若い世代の雇用機会の拡大などを盛り込んだところです。 戦略では特に、若者が生まれ育った本市の風土を愛し、地域に貢献したいという郷土に対する愛着心を育むことを通して、地元への定着を図るため、「大学との連携強化とふるさと教育の推進」を重点戦略の一つに掲げたところです。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成27年11月18日(水)10:50~11:50
場所:鹿児島県立短期大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
22	鹿児島県立短期大学 女性	⑳ 市内に住む若者が、もう少し市内に就職したいと思えるような対策を何かした方が良いのではないかと思います。	<p>㉔ 現在、わが国が直面する地方創生・人口減少克服という課題に国と地方が総力を挙げて対応する中、本市でも、人口減少に歯止めをかけるための取組などをまとめた「総合戦略」と人口の展望等を示した「人口ビジョン」を策定しました。</p> <p>「総合戦略」においては、「しごとで活力をつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「まちの魅力をみがく」「ひと・まちを多彩につなぐ」の4つを基本目標として掲げ、その中で若者の流出対策として、若い世代の雇用機会の拡大や安心して結婚・出産・子育てができる切れ目のない支援の実現、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組などを盛り込んでいます。</p> <p>そうした中、現在、雇用創出につきましては、本市商工業の振興と雇用の安定的な確保に繋げるため、情報関連産業やコールセンター、食関連産業などを重点産業と定め、市外からの企業誘致と市内にある工場等が増設する際などの支援に取り組んでいます。</p> <p>直近では、昨年度以降これまで、コールセンター4社、ソフトウェア業2社をはじめ、計10社と立地協定を結び、これにより将来的に500人を超える新規雇用が計画されており、企業からはさらに拡大したいとの声も聞いています。</p> <p>これからも、企業が立地しやすい環境づくりを行い、若者等の雇用の受け皿づくりにさらに取り組んでいくことにしています。</p> <p>また、若者の地元での雇用機会を確保するために、地元経済団体等への要請訪問やものづくり分野での若者と市内事業所とのマッチング事業を行っているほか、国等と連携して、仕事と生活の調和がとれた働きやすい環境の整備について更に普及啓発を図っていくことにしています。</p> <p>これらのことを通じて、より多くの若者が鹿児島市内に住み、働くことのできるまちづくりを進めていきたいと思えます。</p>	企画財政局 経済局	市長回答のとおり